



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.05

大仙市で病院や介護施設向けのユニフォームを製造しているのが、ナガイ白衣工業株式会社（澤登二郎代表取締役社長）です。永井衣料株式会社（現・ナガイレイベン株式会社）が白衣製造部門の拡充を目的に子会社として1970（昭和45）年、旧南外村に創業。現在は神岡地域にカッティングセンターと物流配送センターを、大曲・南外・中仙の市内3地域と美郷町に合わせて4つの自社工場を置き、市内7社を含む12の協力工場とともに事業を展開しています。

同社がつくるユニフォームは、動きやすく、耐久性に優れ、汚れに強いという高い機能性が特徴です。これまでケイタマル
ヤマや花井幸子らの著名なファッションデザイナーを起用し、衣服としての美しさも追求するなど、現場の声を反映し、品質の改善と向上を図る製品開発は高く評価されています。

同社は現在、国内で年間約230万枚、海外の関連工場で約370万枚のユニフォームを生産する国内トップメーカー。海外で生産された製品は秋田港で陸揚げし、神岡地域の物流配送センターに集められ全国に出荷。また、同地域のカッティングセンターに東洋屈指の裁断設備を設置するなど、大仙市を拠点にして地域に貢献できる企業を目指しています。



国内一の白衣製造メーカー

ナガイ白衣工業(株)

製造品目／医療用衣類（白衣・患者衣など）

従業員数／410人（うち市内勤務は331人）

※今回の案内人は常務取締役の大友欣剛さん